

第3章

スマートウェルネスみしまのコアプロジェクト

1 コアプロジェクトについて

第2章でとりまとめた「施策の体系」のうち、スマートウェルネスみしまの取り組みとして、シンボル性が高く、かつ重要な施策をコアプロジェクトとして抽出し、その内容を提示します。

取り組み方針毎のコアプロジェクトの内容は、次のとおりです。

① 総合的な取り組み

コアプロジェクトNo.	コアプロジェクト名称	具体的取り組み
1	健幸マイレージ	健幸マイレージの実施
2	モバイルで健幸まち歩き	健幸まち歩きアプリケーションの開発
3	協働のまちづくり事業提案コンペ	協働のまちづくり事業提案コンペの実施

② 市民総参加で健康寿命を延ばす健康づくりの取り組み

■みんなで健康づくり

コアプロジェクトNo.	コアプロジェクト名称	具体的取り組み
4	医療費等の分析による市民の健康課題の把握	医療費等の分析による市民の健康課題の把握と施策への反映
5	科学的根拠に基づく個別健康支援プログラム	個別健康支援プログラムの実施
6	健康づくり施策の見える化	健康づくり情報の一元化
7	健康づくりイベントの開催	健康づくりイベントの開催
8	出張！健幸鑑定団 ～スマート健康チェックキャンペーン～	集客施設等での健康チェックの実施
9	大人の食育プロジェクト	新たな大人の食育事業の推進

■ウォーキング・スポーツの環境づくり

コアプロジェクトNo.	コアプロジェクト名称	具体的取り組み
10	ウォーキング情報発信プロジェクト	ウォーキング情報の発信
11	スケールペイント	歩幅目安・スポーツ記録のペイントの実施
12	ウォーキングプラスワン	他イベント等と連携したウォーキングイベントの開催

③ 生涯を通じて多様な社会参加が可能なまちづくりの取り組み

■いきがい・きずなづくり

コアプロジェクトNo.	コアプロジェクト名称	具体的取り組み
13	いきがい・きずなフェスティバル	いきがい・きずなフェスティバルの実施
14	いきがい・きずなづくり 情報一元化プロジェクト	いきがい・きずなづくりの情報一元化
15	いきがい・きずなづくり コンシェルジュステーション事業	いきがい・きずなづくりの相談窓口の開設
16	「再」デビュープロジェクト	高齢者・団塊世代のいきがいの創出
17	女性と高齢者のチカラ活用プロジェクト ～就労支援～	女性と高齢者の就労支援の実施

■歩いて楽しいまちづくり

コアプロジェクトNo.	コアプロジェクト名称	具体的取り組み
18	目指せ!健康!!安全、安心なまちあるき!	安全・安心な歩道整備
19	快適な環境でレッツ街歩き!	公衆トイレ環境の整備
20	歩道も健幸バロメーター	ウォーキング案内サイン整備
21	公共交通の利便性向上・利用拡大プロジェクト	公共交通の利便性向上・利用拡大策の検討

④ 持続可能な“健幸”都市づくりの取り組み

■活力・にぎわいづくり

コアプロジェクトNo.	コアプロジェクト名称	具体的取り組み
22	地産地消のスマートウエルめしプロジェクト	地産地消・安全安心な食によるにぎわいづくり
23	スポーツツーリズム	スポーツツーリズムの推進

■持続可能なまちづくり

コアプロジェクトNo.	コアプロジェクト名称	具体的取り組み
24	みしま経営支援ステーション 「M-ステ」プロジェクト	産業支援拠点の整備
25	医療健康ビジネスマッチング	医療健康ビジネスの連携・融合
26	農商工連携・6次産業化プロジェクト	農商工連携による地場産品の6次産業化
27	内陸フロンティアプロジェクト	東駿河湾環状道路沿線への企業立地促進

2 コアプロジェクトの内容

総合的な取り組み

■コアプロジェクトの目指すもの

- ①スマートウェルネスみしまの総合的な推進
- ②無関心層をも取り込む健幸づくりの総合アプローチの実施
- ③市民・NPO・事業者・行政の協働による具体的な取り組み

No.1 健幸マイレージ

■コアプロジェクトの目的

- ・スマートウェルネスみしまの「健康づくり」「いきがい・きずなづくり」「地域活性化・産業振興」の3つの領域での活動を網羅するポイントカード制度の実施により、その取り組みの周知を図るとともに、ポイントを貯めることを通じて市民の「健幸度」を向上し、さらにまちの健幸度の向上（地域活性化）を図ることを目的とします。

■コアプロジェクトの内容

- ・スマートウェルネスみしまの3つの領域における活動にポイントを付加する制度。ポイント満了で、応募により健康づくりに寄与する景品を進呈します。
- ・ウォーキングや日々の健康づくり、ボランティア活動は、自己申告にてポイント記入します。
- ・指定施設の利用やイベント参加は、スタンプを押印します。

■期待される効果

- ・市民が楽しみながらポイントを貯めることを通じて、活発な日常生活の実現につながります。
- ・スマートウェルネスみしまの幅広い取り組みに対する市民の理解が深まり、“健幸”の輪が広がります。



No.2 モバイルで健幸まち歩き

■コアプロジェクトの目的

- ・急速に普及が進むスマートフォン向けに、市民の健康づくりと地域活性化を目的とした三島市独自のアプリを開発します。
- ・健康づくりのウォーキング支援機能に、まちの観光情報・クチコミ情報の発信機能を統合し、健康づくりと地域活性化の相乗効果を狙います。

■コアプロジェクトの内容

- ・ワークショップ等で出されたアイデアを活かし、誰もがウォーキングや街歩きを楽しめるスマートフォンアプリを開発するとともに、多くの市民・観光客に利用してもらうためのプロモーション活動を行います。

【アプリの機能イメージ】

- ・健康づくり支援機能
- ・目標設定・進捗管理機能
- ・まち歩きの楽しさを広げる機能



■期待される効果

- ・市民向けと観光客向けの双方の情報がシンクロすることで、健康づくりと地域活性化の相乗効果が期待できます。
- ・市民が自由に口コミ情報を投稿できることにより、広がりや深みのある情報の集積と、鮮度の高い情報発信が可能となり、魅力あるまちづくりをサポートする環境づくりが図られます。

No.3 協働のまちづくり事業提案コンペ

■コアプロジェクトの目的

- ・民間の創意工夫をスマートウエルネスみしまの取り組みに反映し、取り組みの充実を図るとともに、市民・NPO・事業者と行政の協働によるまちづくりを推進します。

■コアプロジェクトの内容

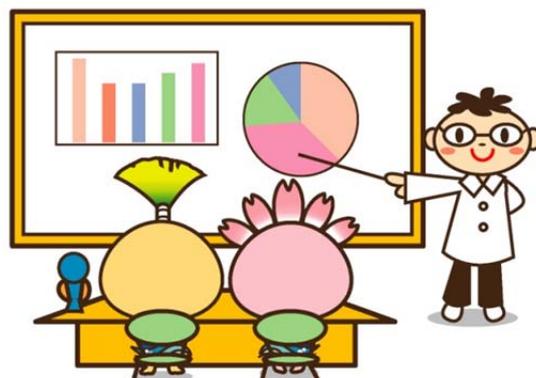
- ・各種団体・NPO・事業者などから、スマートウエルネスみしまをはじめ、地域の絆づくり、ガーデンシティみしまなど市の重要施策における事業提案を募集します。
- 提案された事業については、コンペ形式での審査を経て、優秀提案者に補助金を交付することにより、提案者の取り組みを支援します。

【事業例】

- ・食や運動・スポーツによる健康づくり、ウォーキング普及企画 など
- ・いきがい・きずな創出、コミュニティ再生、女性・高齢者の雇用促進 など
- ・花・水・緑のまちづくり、ボランティア活動支援策、中心市街地活性化 など

■期待される効果

- ・コンペ及び提案事業実施のプロセスを通じて、市民にスマートウエルネスみしまの意義や目的の周知が図られます。
- ・市民自らが考え実行する協働のまちづくりの機運が高まります。



みんなで健康づくり

<健康づくり：市民総参加で健康寿命を延ばす健康づくり分野>

■コアプロジェクトの目指すもの

- ①わかりやすい情報提供と健康づくり意識の浸透
- ②健康づくり無関心層の取り込み
- ③健康寿命の延伸

No.4 医療費等の分析による市民の健康課題の把握

■コアプロジェクトの目的

- ・外部研究機関等との連携により医療費等の分析を行い、市民の健康課題の傾向を把握したうえで、効果的な健康施策の展開を図ります。

■コアプロジェクトの内容

- ・医療費レセプト、特定健診、介護保険レセプト等のひも付けを図り、市民の健康状態や地区別特性等を分析し、課題を整理します。
- ・分析結果に基づき、健康づくり事業の立案と実行を図ります。

■期待される効果

- ・現状分析を踏まえた施策展開が図られるとともに、事業効果や達成度の検証が可能となります。

No.5 科学的根拠に基づく個別健康支援プログラム

■コアプロジェクトの目的

- ・科学的根拠に基づいた、効果的で継続支援が可能な健康運動プログラムを導入し、効果検証と分析を通じて、健康づくり事業の成果の「見える化」を実現します。

■コアプロジェクトの内容

- ・体力・健康状態等に応じて生成される個別健康づくり支援プログラムを導入します。
- ・団塊の世代を中心とした年齢層の生活習慣病予備群を主な対象に継続的な支援を図ります。
- ・週1回の集団指導を3か月タームで実施し、体力・健康状態を逐次チェックし、効果検証を図るとともに、実施状況を広報みしま、HP等で公表し、啓発につなげていきます。



■期待される効果

- ・健康づくりに対する関心層に単発で実施され、効果検証も十分図られてこなかった健康づくり事業が、効果の見える化が可能となるとともに、より実効性のあるものに転換されます。



No.6 健康づくり施策の見える化

■コアプロジェクトの目的

- ・各部署が提供してきた健康づくりに関する情報を一元化して情報発信することで、市民のヘルス・リテラシー（健康に関する情報を吟味し行動につなげる能力のこと）の向上を図ります。

■コアプロジェクトの内容

- ・市、関係団体（医師会等）の健康づくりに関する講座や講演等の情報を一元化し、情報誌などにより市民へ情報提供を行います。
- ・市民ポータルサイトやSNS等を活用し、気軽に健康について相談できる仕組みを作ります。

■期待される効果

- ・市民が情報に容易にアクセスできる環境を構築し、健康づくりにつながる機会創出を図ります。
- ・事業・テーマの重複を避けたり、日程の調整を図ったりと、組織・団体の枠組みを超えて、より効果的な健康づくり事業の実施ができる情報の共有化が図られます。

No.7 健康づくりイベントの開催

■コアプロジェクトの目的

- ・健康づくり団体の活動のPRの機会を創出し、スマートウェルネスみしまの取り組みを、市民一人ひとりに浸透させていきます。また、庁内各部も参加し、スマートウェルネスみしまに関する取り組みをPRします。

■コアプロジェクトの内容

- ・NPO・事業者等の活動紹介、情報交換の場づくり
- ・庁内各部のスマートウェルネスみしまの取り組み紹介 など

■期待される効果

- ・団体相互の交流を通じて連携が促進され、協働によるスマートウェルネスみしまの取り組みに広がりが見込まれます。
- ・職員の意識改革が図られ、庁内連携がより緊密化します。

No.8 出張！健幸鑑定団～スマート健康チェックキャンペーン～

■コアプロジェクトの目的

- ・不特定多数の市民が集まるイベントや集客施設等における健康づくりキャンペーンを行うことで、健康づくりに無関心な市民の意識啓発を図ります。

■コアプロジェクトの内容

- ・市の保健師・栄養士等がイベント・集客施設に出張し啓発事業を展開します。

【想定場所】

- ・商店街、ショッピングセンター、スーパー、ドラッグストア、金融機関等

【実施内容】

- ・血圧・骨密度・肺年齢等の健康チェック、健康・栄養相談、禁煙相談、健診受診勧奨など

■期待される効果

- ・健康づくりに対する無関心層へ直接訴えかける機会の創出が図られます。
- ・各種健康測定の実施により、市民が自身の健康状態に関心を持つ契機となり、健康づくりの動機づけが図られます。



No.9 大人の食育プロジェクト

■コアプロジェクトの目的

- ・偏食や女性の低体重（やせ）問題対策として、心身の健康づくり、生活習慣病予防、介護予防の観点から「大人の食育」に重点を置いた食育推進を図ります。

■コアプロジェクトの内容

- ・子育て世代や、これから結婚する若年層及び単身者など、特にアプローチが必要とされる層に訴える「大人の食育」の企画を立案・実行します。

■期待される効果

- ・食や健康づくりに関心の薄い層への働きかけにより、正しい食生活の普及が図られ市民の健康度がアップします。



ウォーキング・スポーツの環境づくり

＜健康づくり：市民総参加で健康寿命を延ばす健康づくり分野＞

■コアプロジェクトの目指すもの

- ①ウォーキングに関する「集約された」情報提供
- ②無関心層へのアプローチ
- ③ウォーキングと観光振興の融合による相乗効果

No.10 ウォーキング情報発信プロジェクト

■コアプロジェクトの目的

- ・ウォーキングに関する様々な情報を集約し、発信することでより市民に分かりやすい情報提供を行い、ウォーキングの普及・啓発と定着化を図ります。

■コアプロジェクトの内容

①ウォーキングに関する様々な情報の提供

- ・市内に5か所ある健康づくりコーナーを情報拠点に情報提供を行います。
- ・開催されるウォーキングイベントの一覧（隔月程度）、コースマップ、見どころ（花の開花状況など）

②WEB・広報を利用した紹介

- ・団体の紹介
- ・市民からの見どころの投稿 等

③ウォーキングレポートコンテスト

- ・ウォーキングに関する「感想・自慢・コツ」「新しいコース」などをコンテスト形式で募集し広報・HPで掲載します。



■期待される効果

- ・ウォーキングに関する情報が一元化することで、様々な切り口、付加価値を持つ四季折々のウォーキングイベントの存在が市民に広く周知され、ウォーキングのまちづくりが進みます。
- ・日々の健康づくりとしてのウォーキングに新たな楽しみを提案することで、ウォーキング実践の継続支援につながります。



■ウォーキングマップ：北上地区（表）



■ウォーキングマップ：北上地区（裏）

No.11 スケールペイント

■コアプロジェクトの目的

- ・ウオーキング支援の仕掛けやスポーツに関係する遊び心のある仕掛けを道路や施設にペイントし、ウオーキングやまち歩きを楽しみの提供を通じて、歩いて楽しい環境づくりを図ります。

■コアプロジェクトの内容

- ・歩道上や市民体育館等の公共施設にウオーキング、スポーツにまつわるペイントを施します。

【実施例】

- ・歩くスピードや歩幅の目安
- ・走り幅跳び、走り高跳びの世界記録 など

■期待される効果

- ・ウオーキングやスポーツに対する関心が誘発されるとともに、スポーツのまちづくりのイメージづくりが図られる。
- ・単調になりがちなウオーキングに視覚に訴える遊び心が加わることで、会話が生まれるなど、楽しく歩ける場と環境づくりにつながります。



■イメージ例

No.12 ウオーキングプラスワン

■コアプロジェクトの目的

- ・各種団体との協働や広域連携により、四季折々の様々な付加価値を持ったウオーキングイベントが市内各所で開催されるまちづくりを進め、市民の健康づくりと地域活性化を図ります。

■コアプロジェクトの内容

- ・無関心層対策として新規イベント、既存イベントに健康的視点を取り入れます。

①多様な付加価値があるウオーキング大会の開催支援

【実施例】

- ・「歴史」「ジオパーク」「環境」「ボランティア」「防犯」「きずなづくり」「世代間交流」など

②既存のまち歩きイベントへの健康的視点の導入

- ・観光などのまち歩きイベントに、消費カロリーの目安や健康情報を提供します。

■期待される効果

- ・いつもどこかでウオーキング大会が開かれているウオーキングのまちとしてのイメージづくりが図られます。
- ・イベント参加を契機に歩く楽しさに目覚め、日々の生活に歩行習慣を取り入れたり、ウオーキングによる健康づくりに取り組んだりといった市民が増加します。



いきがい・きずなづくり

<いきがいきずなづくり：生涯を通じて多様な社会参加が可能なまちづくり分野>

■コアプロジェクトの目指すもの

- ①いきがい・きずなづくりに関する情報の集約と発信
- ②いきがい・きずなのマッチング強化
- ③単発の事業に留まらない永続的な仕組みづくり

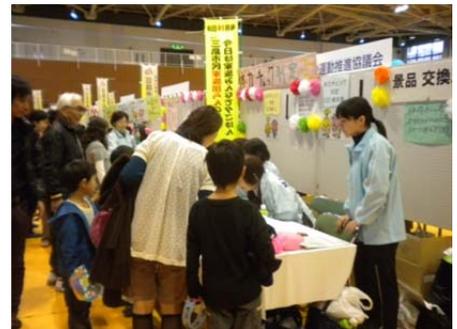
No.13 いきがい・きずなフェスティバル

■コアプロジェクトの目的

- ・いきがい・きずなづくりに向けた、人と人、人と団体、団体と団体が交流できる場を創出し、情報の共有化と相互理解を深め、連携・協力関係の構築を図ります。

■コアプロジェクトの内容

- ・いきがい・きずなに関係するNPOや事業者などが一同に介するイベントを開催します。
- ・団体・人材紹介ブース、相談・商談ブース、講演会・研究会・PRコーナー、食のブース等を設置します。



■期待される効果

- ・イベント参加をきっかけにいきがいやきずなづくりの輪に加わる市民が増えます。
- ・世代・性別を超えたいきがい・きずなづくりの体制整備の機運が高まります。
- ・団体相互の連携が深まり、新たな活動につながります。

No.14 いきがい・きずなづくり情報一元化プロジェクト

■コアプロジェクトの目的

- ・民間や市民団体なども含めた様々ないきがい・きずなに関するイベント・事業、人材などの情報を集約し、いきがいを求めている人に最適なきっかけを紹介し、結び付けていきます。
- ・集約した情報は、SNS等を活用して交流を生み出し、新たなきずなづくりにつなげます。

■コアプロジェクトの内容

- ・いきがい・きずなづくりを深めていくことを目的に、各種セミナーや活動団体等の情報を集約するとともに、ITを活用し双方向の情報提供を実施します。
- なお、公衆無線LANの充実やモバイル端末機器の利用啓発等を行うなかで、ITと親和性の薄い世代も巻き込みながら、当該プロジェクトの広がりや推進を図ります。

収集する情報…各種セミナー、活動団体等の事業、生涯学習指導者の人材情報等

発信方法…パンフレット、HP、SNS等

■期待される効果

- ・生涯学習、文化活動、地域活動、ボランティア活動などを、いきがい・きずなという切り口で再構築し、情報を集約することで、新たな連携の広がりや活動の深まりが生まれます。
- ・趣味等の目的でつながるテーマ型コミュニティと地域コミュニティをつなぐことで、地域の課題解決に向けた新たな活動を生み出す環境づくりが図られます。

No.15 いきがい・きずなづくりコンシェルジュステーション事業

■コアプロジェクトの目的

- ・いきがい・きずなづくりに関する総合コンサルタント拠点（コンシェルジュステーション）を整備し、市民のいきがいづくり、きずなづくりをサポートします。

■コアプロジェクトの内容

- ・コンシェルジュステーションには、相談機能やコミュニティ機能を設けるとともに、人材育成事業等、各種事業を実施します。

■期待される効果

- ・いきがい・きずなづくりに関する人と人、人と団体、団体と団体とのマッチングのコーディネートを図ることで、市民の社会参加のきっかけ創出や、団体相互の連携促進につながります。



No.16 「再」デビュープロジェクト

■コアプロジェクトの目的

- ・団塊の世代を中心とした高齢者が、豊富な経験や知識を活かして活躍できる機会や場を創出し、本人のいきがいづくりと地域とのきずなづくりにつなげます。

■コアプロジェクトの内容

①地域「再」デビュープロジェクト

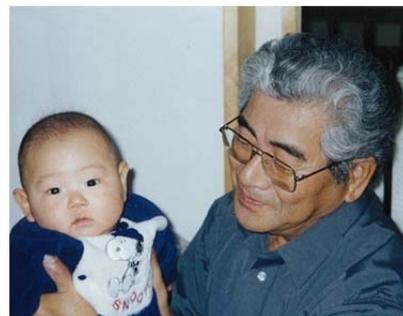
- ・地域におけるボランティア活動の機会を提供します。

②家庭「再」デビュープロジェクト

- ・「孫」をキーワードとして、家庭内での取り組みを支援するための講座を開催します。

■期待される効果

- ・高齢者の社会参加のきっかけづくりを支援することで、地域社会とのつながりを持つことが容易になります。
- ・仕事をリタイアした後の孤立・閉じこもりを防止できます。



No.17 女性と高齢者のチカラ活用プロジェクト～就労支援～

■コアプロジェクトの目的

- ・少子高齢化、人口減少の時代の到来により、労働人口が減少し、国の活力、経済活動への悪影響が懸念されるなか、これからの地域社会を支える労働力として女性と高齢者の積極活用を図るため、NPO等との協働による就労支援事業を展開していきます。

■コアプロジェクトの内容

- ・相談業務やセミナー開催などを通じて、子育て世代や子育てがひと段落した女性の職場復帰支援や、高齢者の経験や技術を活かした就労のサポートなどを行っていきます。

■期待される効果

- ・女性・高齢者の就労が実現することで、経済的な恩恵はもとより社会参加を通じた自己実現、いきがいづくりが図られます。
- ・地元企業としては優秀な人材確保が可能となり競争力の強化が期待できます。

歩いて暮らせるまちづくり

<いきがいきずなづくり：生涯を通じて多様な社会参加が可能なまちづくり分野>

■コアプロジェクトの目指すもの

- ①安心して安全に歩くことができる基盤整備
- ②楽しく歩くことができる仕掛けづくり

No.18 目指せ！健幸！！安全、安心なまちあるき！

■コアプロジェクトの目的

- ・道路構造条例等の制定を通じて、自動車と歩行者及び自転車が共存できる道路「歩車共存道」の整備の方向性を定めるとともに、歩きやすく、歩きたくなる道路整備を図ります。
- ・近年、全国的に歩行中の事故が多発するなか、安全な歩行者空間を確保し、歩いて暮らせる地域づくりと、まち歩き（ウォーキング）の環境整備を進めます。

■コアプロジェクトの内容

- ・地域住民や学校等と連携し、地域のコンセンサスを得ながら危険箇所を整理し重点整備を進めます。また、地域との協働により一定エリアで速度制限を行う「ゾーン 30」の設定について、公安委員会等と連携を図る中で検討します。

①危険個所の整理…地域住民や学校と危険個所についての検討

②整備の実施…検討した危険個所を順次整備

■期待される効果

- ・健康はもとより福祉や環境などの視点からも求められる、歩いて暮らせるまちづくりが進みます。
- ・歩行者が増えることで、まちかどでの交流も増加し、ソーシャルキャピタルの醸成に繋がります。



No.19 快適な環境でレッツ街歩き！

■コアプロジェクトの目的

- ・安心してまち歩きができる環境づくりと、まちのイメージアップの一環として、公園や観光施設のトイレを改修します。
- ・きれいなトイレ、利用しやすいトイレをつくり、市民や観光客のまち歩きを促し、健康づくりと地域活性化に繋がります。

■コアプロジェクトの内容

- ・市内の既存公衆トイレを利用しやすい、快適なトイレにするため、改修・清掃強化をします。

①既存トイレの改修

- ・観光施設、公園など利用者が多いトイレを、景観にマッチした明るい、臭わない、清潔、安全という社会のニーズに合ったトイレとして改修します。

②既存トイレの維持管理

- ・公園トイレの美化清掃を強化するなど、維持管理を徹底する。また、利用者の癒し、安らぎの空間となるようなトイレそのものの機能以外の付加価値を施します。

■期待される効果

- ・快適に利用できるトイレが市内に点在することによって、ウォーキングやまち歩きのしやすい環境づくりにつながります。
- ・「まちの顔」とも評される公衆トイレを美しく保つことで、特に女性の視点からのまちに対する好イメージの醸成効果が期待できます。

No.20 歩道も健幸バロメーター

■コアプロジェクトの目的

- ・ウォーキングコース上の歩道に、距離、消費カロリー等を表示することで、歩く習慣のない市民がウォーキングを始める動機づけを図るとともに、歩いて楽しいまちづくりに繋がります。

■コアプロジェクトの内容

- ・現在 4 地区 16 コースあるウォーキングモデルコースや沢地川・大場川等河川沿いの歩道上に「距離標」「消費カロリー」「カロリーを食事に換算した際の目安」などが示された案内サインを設置します。
- ・整備は段階的に進めるとともに、整備計画検討に市民参画を促し、ウォーキングのさらなる普及を図ります。

■期待される効果

- ・案内サイン整備によりウォーキングマップを持たずとも、安全で見どころ豊富なコースをめぐることのできる環境整備が図られます。
- ・ポイントまでの距離感や消費カロリーの目安がわかるなど、歩いてみたいと思わせる仕掛けづくりにより、ウォーキング人口のすそ野拡大が図られます。
- ・案内サインがウォーキングのまちづくりのPR広告としての機能も担います。



No.21 公共交通の利便性向上・利用拡大プロジェクト

■コアプロジェクトの目的

- ・自家用車に過度に頼らずとも歩いて暮らせるまちづくりを推進するため、公共交通機関のより効果的な運行を目指し、その利便性向上と利用拡大策を検討します。

■コアプロジェクトの内容

- ・コミュニティバスの利便性向上のため、運行ダイヤや路線経路の最適化に向けて協議します。
- ・利便性が高いデマンド交通を運行する自治体に関する調査を進め、当市での導入の可能性を研究します。
- ・コミュニティバス・路線バス等の利用拡大のため、各種助成事業を継続して実施します。

【事業実施例】

- ・高齢者バス等利用助成事業、高齢者運転免許返納支援事業

■期待される効果

- ・高齢者をはじめとする交通弱者の外出が促進され、社会参加と地域交流の機会が増えます。
- ・公共交通の利用は、乗用車と比較して自然と歩く距離も増え運動量が増加し、健康づくりに貢献します。
- ・環境面からも低炭素なまちづくりへの寄与が期待できます。



活力・にぎわいづくり

<地域活性化・産業振興：持続可能な“健幸”都市づくり>

■コアプロジェクトの目指すもの

- ①健康を切り口とした「にぎわい」の仕掛けづくり
- ②箱根西麓などの自然・環境・文化の特性を活かした新たな観光振興策の検討
- ③商店街・中心市街地の活性化策の検討

No.22 地産地消のスマートウェルめしプロジェクト

■コアプロジェクトの目的

- ・安心・安全な食材（箱根西麓三島野菜、地元ブランド牛・豚）を使用したヘルシーメニューを通じて、健康になれるまちづくりを進めます。また、食と健康のまちを市内外にPRし、地域活性化と観光振興を目指すとともに食材のブランド化を進めます。

■コアプロジェクトの内容

- ・市内飲食店等で地産地消のヘルシーメニューを展開し、食と健康のまちを市内外にPRします。
- ・地産地消のヘルシーメニューであるスマートウェルめし提供店の認定、提供店食べ歩きマップの作成、地産地消のスマートウェルめし弁当アンテナショップの設置、地場産品（食材、食器等幅広く）を使った店づくり支援などを進めます。



■期待される効果

- ・健康づくりと地域活性化、まちづくりの相乗効果、波及効果が期待できます。
- ・地場食材のブランド化、高付加価値化が図られます。
- ・ヘルシー志向の特に女性の支持を集めることで、まちのイメージアップが図られ、品格あるまちづくりへの貢献が期待できます。



No.23 スポーツツーリズム

■コアプロジェクトの目的

- ・自然、地形、歴史、文化など既存の資源を利用したアウトドアスポーツなどのイベントを開催することで、交流人口の増大、地域経済の活性化などを図ります。
- ・常設コースの設置でイベント時以外にも滞留人口を増やし観光振興を図ります。

■コアプロジェクトの内容

- ・近隣市町との広域連携により各種スポーツイベントを実施します。

①伊豆マラソンの拡大

- ・一大イベントへ成長させるための運営組織の強化

②箱根西麓・三島大吊橋、伊豆フルーツパークなどの観光拠点や箱根の里をつなぐような新たなウォーキングコースの整備とイベントの開催

- ・大吊橋を拠点に箱根西麓をフィールドとして活用
- ・トレイルランニング・ウォーキングイベント

③サイクルイベントの実施

- ・箱根西麓ヒルクライム（三嶋大社～芦ノ湖畔）、伊豆一周サイクリング など

※事業の実施にあたっては庁内組織とともに日本スポーツツーリズム推進機構（JSTA）に加盟し情報収集を行います。

■期待される効果

- ・NPOや事業者との協働事業として実施することで、比較的ローコストで、全国にアピールできるイベントづくりが可能となります。
- ・飲食店、物販店、宿泊施設等への経済効果、波及効果が期待できます。
- ・スポーツのまちづくりを通じて、都市のイメージアップが図られます。
- ・レセプション、物販、宿泊等による経済波及効果
- ・ベースステーション（起点地）ならではの新たな産業創出の期待



持続可能なまちづくり

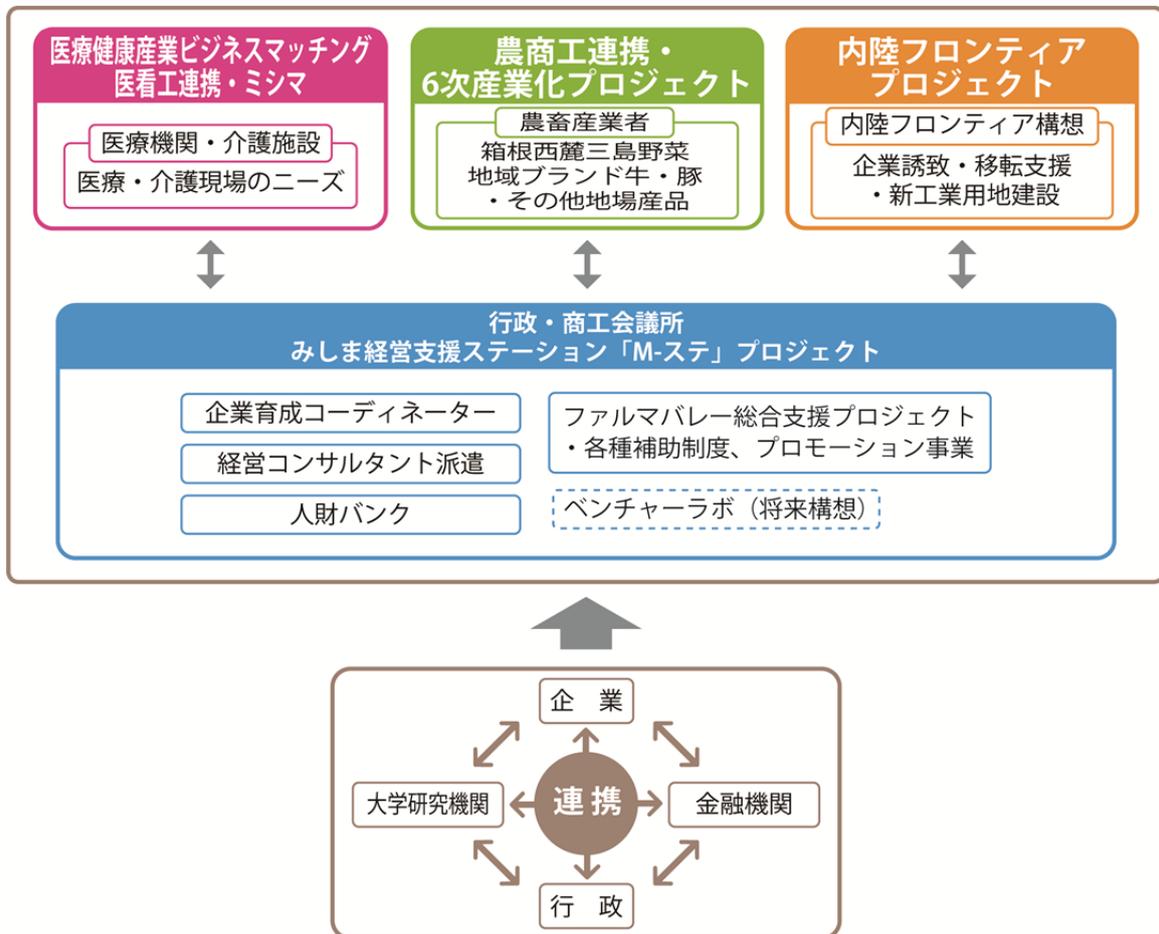
＜地域活性化・産業振興：持続可能な“健幸”都市づくり＞

■コアプロジェクトの目指すもの

- ①企業支援を総合的にコーディネートする仕組みづくり
- ②ニーズとシーズを連携・融合する場と機会づくり

「持続可能なまちづくり」で提示する 4 つのコアプロジェクトは、「産学官金」の連携のもと、以下の図のように相互に連携しつつ、効果的で効率的な推進を図ります。

＜イメージ図＞



No.24 みしま経営支援ステーション「M-ステ」プロジェクト

■コアプロジェクトの目的

- ・企業の育成・支援、ビジネスの連携・融合、人材交流を目的とした産業支援の総合拠点を整備し、企業の競争力と産学官金連携の強化を図ります。

■コアプロジェクトの内容

- ①企業育成コーディネーター…ビジネスの連携・融合等の一括サービスを実現。
- ②経営コンサルタント派遣事業…市内企業の経営課題を相談できるコンサルタントを派遣。
- ③人財バンク…ベンチャー育成、企業支援を図るため企業OBなど市内のシニア人材を活用。
- ④ファルマバレー総合支援プロジェクト
…既存補助制度の積極活用をPR。企業のニーズに合わせ、より使いやすい制度として拡充。

■期待される効果

- ・ニーズ（市場）とシーズ（技術）のマッチング支援を行うことで、新規事業への参入を後押しし、地元企業の競争力強化につながります。
- ・技術、発想、熱意のある事業者を手厚く支援する体制づくりを通じて、高付加価値型企業の育成が図られます。
- ・「産学官金」のオール三島の力を結集した実効性ある産業振興の体制づくりが図られます。

No.25 医療健康ビジネスマッチング

■コアプロジェクトの目的

- ・医療・介護現場や市外企業のニーズと地域企業の技術を結び付け、医療健康分野への参入を支援し、地域経済の活性化を図ります。

■コアプロジェクトの内容

- ・「医看工連携・ミシマ」の機能強化を図り、市内医療機関との連携により医療・介護現場でのニーズを掘り起こし、市内企業の商品開発につなげます。
- ・ビジネスマッチングツアーを実施し、県内外の大手企業へ市内企業を紹介します。
- ・一般紙・業界紙・専門誌へアプローチし、市内オンリーワン企業を紹介してもらうなど、隠れた技術力、商品力のある企業の掘り起こしを図り、ビジネスにつなげます。

■期待される効果

- ・21世紀の成長分野と言われる医療健康産業に対する支援体制が強化され、地元企業の新規事業への取り組みや新たな企業立地を誘導する基盤整備が図られます。



No.26 農商工連携・6次産業化プロジェクト

■コアプロジェクトの目的

- ・箱根西麓三島野菜をはじめとする農畜産物、観光資源、企業の技術・ノウハウなどの地域の資産を結びつけ、積極的に活用することで、付加価値の高い商品・サービスを生み出し、儲かる農業と産業振興、地域の活性化を実現します。

■コアプロジェクトの内容

- ・農商工の“ビジネスマッチング”を図り、箱根西麓三島野菜等の地場産品や地域資産を活かしたオンリーワン商品・サービスの開発及び販売促進を支援します。(M-ステ再掲)
- ・伊豆フルーツパークのオープンや三島青果市場の移転等を活かし、食や農と連携した観光事業（アグリツーリズム）による地域活性化を図ります。

■期待される効果

- ・地場食材のブランド化、高付加価値化が図られます。
- ・“物語性”の高い商品を開発することで、新たな三島を代表する名産品が生まれます。
- ・食や農をキーワードとしたまちづくりが進むことで、地域活性化と産業振興が図られます。



No.27 内陸フロンティアプロジェクト

■コアプロジェクトの目的

- ・三島市への立地を希望する企業の潜在需要があるものの、ニーズに合う用地の確保が難しく、進出にまで至らないケースも多くあります。こうした現状を打破するため、東駿河湾環状道路沿線の開発を進めます。

■コアプロジェクトの内容

- ・東駿河湾環状道路沿線が県の内陸フロンティア特区に位置づけられることも見据えつつ、三ツ谷地区での工業団地の建設や、玉沢地区へのファルマバレープロジェクトに関連する企業の誘致などを推進します。
- ・オーダーメイド型の開発やきめ細かな支援メニューの提供により、他地区との差別化を図り、企業の進出を促します。

■期待される効果

- ・新たな企業の進出により、経済活性化、雇用の確保、税収増を図られます。
- ・進出企業と地場企業とのマッチングを行うことで、地場産業の育成につながります。